



2026年5月12日

各位

会社名 株式会社翻訳センター
代表者名 代表取締役社長 二宮 俊一郎
(コード：2483 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理統括 魚谷 昌司
(TEL. 06-6282-5013)

中期経営計画における連結業績目標の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月12日開催の取締役会において、2026年3月期～2028年3月期を対象とする中期経営計画における連結業績目標の修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 修正の理由

当社は、2026年3月期～2028年3月期を対象とする中期経営計画（以下、「本中期経営計画」）を策定し、翻訳支援ツール（CAT）、機械翻訳（MT）、大規模言語モデル（LLM）などの自然言語処理技術を活用したサービスの提供に加え、データ分析に基づく営業・マーケティングを推進し、事業競争力の強化に努めてまいりました。しかしながら、米国の通商政策に対する不透明感を背景に、2026年3月期の連結売上高は前期比3.0%減の10,871百万円となりました。利益面につきましては、グループ全体で経費削減に取り組んだものの、営業利益は前期比20.7%減の705百万円、経常利益は前期比17.3%減の748百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比36.1%減の462百万円となりました。

このような状況を踏まえ、本中期経営計画における連結業績目標を以下の通り修正することといたしました。

2. 修正の内容

本中期経営計画における連結業績目標を以下の通り、修正いたします。

(単位：百万円)

	2028年3月期		増減	増減率
	(当初)	(修正後)		
売上高	13,000	11,700	△1,300	△10.0%
営業利益	1,200	900	△300	△25.0%
当期純利益	800	600	△200	△25.0%
ROE	10%以上	8%以上	—	—

短期的な利益率の低下により、ROE 目標は従来水準を一時的に下回る見込みですが、中期的には従前の方針どおり、資本コストを上回る水準の確保に努めてまいります。

本中期経営計画における基本方針は、「翻訳センターグループは、専門分野に精通した翻訳者・通訳者と日々蓄積される豊富な言語資産の活用を通じて、デジタル時代に対応した言語サービスを提供することで、顧客企業から最も信頼される言語サービスのパートナーになることを目指す」ことにあります。当社が注力する専門分野に根ざした言語サービスの需要は長期的には堅調であると見込んでおり、修正計画においても、この基本方針は堅持してまいります。変化の激しい事業環境に対応するために、各重点施策の取り組みを一層推し進めてまいります。

(注) 上記に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上